

実施による工夫と得られる効果の検証(一覧)

■実施による工夫

- ①10月度例会のPRのために、委員会回りをし、参加の促進を図ります。
- ②四日市諏訪商店街振興組合、四日市商工会議所青年部と念入りな打ち合わせをします。
- ③チラシリストを作成し、配布先別に仕分けをし、青少年育成室、教育委員会を経て、校長会に提出をします。
- ④四日市市公式のInstagramアカウント「四日市スタイル」にて事業内容をPRしていただきます。
- ⑤すくろくゲームの結果発表を、当LOMのInstagramアカウントにて行います。
- ⑥すくろくゲームの対外参加者の抽選はGoogleフォームの回答とChatGPTを組み合わせて行います。
- ⑦対外参加者のアンケートは、ゴールした時にQRコードを読み取り、回答していただきます。
- ⑧四日市諏訪商店街振興組合、四日市商工会議所青年部、まちなか文化祭のチラシを本部にて配布します。また、まちなか文化祭のチラシ内で本事業の内容を紹介していただきます。
- ⑨各マスで案内を表示します。

■得られた効果

- ①10月度例会に興味を持っていただき、対外の人を呼んでいただくことができました。
- ②他団体と連携することで、対外参加者がたくさんのまちの魅力に会える環境や魅力を発信する環境を提供することができました。
- ③青少年やその家族に向けて、効率よく事業のPRをすることができ、たくさんの応募につなげることができました。
- ④Instagramで事業内容を告知する際に、「#四日市スタイル」を活用することで、効率的にPRを行い、たくさんの応募につなげることができました。
- ⑤本事業の趣旨に沿った形で、効率的に結果発表を行うことができました。
- ⑥予算を節約しつつ、効率的に対外参加者の抽選を行うことができました。
- ⑦ゴール時にポイント集計表の提出と同時に、アンケートのQRコードを読み込んでいただくことで、効率的に回答を促すことができました。
- ⑧他団体との協力により、対外参加者にまちの魅力をより広く知っていただくことができました。
- ⑨案内表示を設置することで、対外参加者が迷わずに進行することができました。